

### <出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも標準の授業時数で学習する範囲とし、中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置き、思考力、判断力及び表現力などが的確に把握できる出題とする。

### <特徴>

基礎・基本の定着、論理的思考力や判断力をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着をみるとともに、資料や図表、解説文等を用いて、語句の記述や図表の作成等の問題を設け、受検生が身に付けたさまざまな知識・技能等を活用して比較・分析し、総合的に考え、判断・解決し、表現できるかどうかをみた。

### <各教科の特色と傾向>

#### 【国 語】

- 1 古文では、本当の学識についての考え方が述べられた文章を読み取る力をみるとともに、歴史的仮名遣いなどについて問い、古典を理解する基礎が身に付いているかをみる出題とした。

〔出典〕「続古事談」(新日本古典文学大系 岩波書店)

説話集。編者未詳。鎌倉時代に成立。

問題文は、「知らず」ということをためらわない<sup>あつちか</sup>敦親を、故少納言入道が賞賛した説話を記した部分である。登場人物が述べた真の学識についての考え方を読解することで、古文のおもしろさに気づかせ、古典に親しむ態度を育て古典への関心を深めさせたい。

- 2 現代文では、日本の伝統文芸の一つである俳句における「季語」を題材として「豊かさ」の質について述べた文章を読み、書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえて内容を理解することにより、我が国の文化と伝統に対する関心や理解を深めるとともに、豊かな人間性を養うような出題とした。

〔出典〕「季節をみなおす」 三村昌義

(多田道太郎編「環境文化を学ぶ人のために」世界思想社 より)

問題文は、日本文学や文化人類学・民俗学の研究に携わってきた三村昌義氏による「季節をみなおす」の全文である。俳句における「季語」の在り方を題材として、古くから実感されてきた季節感が喪失されつつあることに対して警鐘を鳴らすとともに、本当の豊かさとは何かについて、読者に再考を促す内容となっている。

論理の展開の仕方を的確にとらえるとともに、今後の文化・文明の在り方について、多角的かつ全地球的な視点を持つという態度を養いたい。

#### 【社 会】

- 1 中学校での、調べ方や学び方を学ぶ学習をふまえて、フィールドワーク的な要素をもった設問とした。地図や統計資料の読み取り、作業的要素を取り入れた問題などを通して、基礎的・基本的な内容についての理解をみるとともに、論理的な思考力や複数の資料を活用する力をみた。また、身近なことがらを例にした問題、時事的なことがらに関する問題を設け、社会の諸問題に着目させた。
- 2 小問の数は、各分野の授業時間数等に留意したものとした。広い視野から社会的事象を総合的にとらえる力の定着をみるため、大問全てを地理、歴史、公民の各分野の内容を関連付けた融合問題とした。

#### 【数 学】

- 1 基礎的・基本的な内容の理解と計算の技能を確かめるとともに、具体的な事象を数理的に考察したり、数量や図形について見通しをもって論理的に考察したりする力をみるように工夫した。
- 2 実生活に関連付けた問題を設け、論理的な思考力を問うとともに、数学的な見方や考え方のよさに気付くことができるかどうかをみた。

<出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも標準の授業時数で学習する範囲とし、中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置き、思考力、判断力及び表現力などが的確に把握できる出題とする。

<特徴>

**基礎・基本の定着、論理的思考力や判断力をみる**

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着をみるとともに、資料や図表、解説文等を用いて、語句の記述や図表の作成等の問題を設け、受検生が身に付けたさまざまな知識・技能等を活用して比較・分析し、総合的に考え、判断・解決し、表現できるかどうかをみた。

<各教科の特色と傾向>

**【理 科】**

- 1 観察や実験から得られる情報や基本的な概念をもとに、それらを活用して自然事象の原因を考えたり、予想を立てたりするなどの設問を通して、科学的な見方や考え方が身に付いているかどうかをみた。
- 2 物理、化学、生物、地学の各領域からほぼ均等に出題し、基礎的・基本的な概念を正しく身に付けているかどうかをみた。

**【英 語】**

- 1 日常生活の場面でよく用いられる表現を通して、基礎的・基本的な内容を問うことにより、英語での実践的なコミュニケーション能力の基礎が身に付いているかどうかをみた。また、実際の言語使用を考慮し、4領域（聞く、話す、読む、書く）を関連付けた出題とした。
- 2 読解問題を検査 5-1、リスニング問題を検査 5-2 として実施した。また、学習指導要領の趣旨を生かし、リスニング問題の割合を全体の 30%とした。
- 3 読解問題では、海外での体験を題材とした英文を読んで内容を的確に把握できるかどうか、図を参考にして対話から必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる設問とした。
- 4 リスニング問題では、短い対話を聞いて質問に対する適切な応答ができるかどうか、まとまった内容をもつ対話を聞いて概要を日本語でまとめることができるかどうか、短い対話に続く適切な英文を選択できるかどうかをみる設問とした。